

初秋の候、皆さま方には益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。
診療科別予定表を同封しておりますので、今後とも患者さまの
ご紹介を宜しく申し上げます。



ごあいさつ



循環器内科 医長

まきた なおき

蒔田 直記



当科では心不全をはじめ、狭心症、心筋梗塞などの虚血性心疾患、不整脈、肺塞栓症、深部静脈血栓症、間欠性跛行や下肢難治性潰瘍、壊疽の原因となる閉塞性動脈硬化症に対して積極的に治療を行っていきたいと考えております。胸痛や動悸、下肢浮腫、心電図異常、間欠性跛行、ABI低下、下肢潰瘍、下肢壊疽、高血圧/糖尿病/脂質異常症/喫煙歴/家族歴のうち、2つ以上のリスクファクターのある患者様、狭心症や心筋梗塞の既往のある患者様の慢性期心精査など、些細なことでも迅速に対応させていただきます。

慢性心不全患者で心機能低下例、腎不全合併例、体液コントロールにアゾセミド【ダイアート】60mg or フロセミド【ラシックス】40mg以上を必要とする症例、心不全増悪を繰り返している症例ではトルバプタン【サムスカ】の長期投与により、心不全増悪による再入院が抑制できる可能性がありますので、導入目的の短期入院を含めた検討をさせていただきます。

阪南市民病院循環器内科では2021年9月から下肢虚血外来を開設しています。主な対象疾患は『末梢動脈疾患(PAD)、重症下肢虚血(CLI)』で以前は閉塞性動脈硬化症(ASO)と呼ばれていた疾患です。間欠性跛行、下肢冷感、安静時下肢疼痛、難治性下肢潰瘍、下肢チアノーゼ、下肢壊疽でお困りの患者を診られた際や、少しでも末梢動脈疾患(PAD)や重症下肢虚血(CLI)を疑った際には、御紹介ください。



末梢動脈疾患(PAD)、重症下肢虚血(CLI)

【症状】 ・間欠性跛行：歩行中に足が痛くなり歩けなくなるが、少し休むと回復し、歩けるようになる。目的地に着くまでに数回休憩が必要

- ・下肢冷感
- ・安静時下肢疼痛
- ・難治性下肢潰瘍
- ・下肢チアノーゼ、壊疽、黒色変化

【原因】 動脈硬化による血流障害、虚血

【検査】 ABI、下肢動脈エコー、皮膚灌流圧測定(SPP)、CT、MRI、カテーテル検査

【治療】 抗血小板剤、カテーテル治療



CT・MRIのご依頼について（再掲）

平日は**午後5時30分まで**受付可能です。※単純撮影のみ。

午前中をご希望の紹介患者さまがおられましたら、**土曜日午前中**もご予約がとれます。

また、**日曜日（祝日を除く）午前中**も撮影可能です。受付は直近の土曜日12時までにご連絡下さい。

事前に保険証情報、依頼書兼診療情報提供書（MRIの場合、問診票も必要）をお送り下さい。

記録する媒体がCD-Rであれば、事前に支払い金額をご案内できます。

第77回 市民病院公開講座 開催報告

9月9日（土）に行われました市民病院公開講座（眼瞼下垂～まぶたが重い！眼が見えにくい！そのような症状ありませんか？～）は、事前にお申し込みいただきました一般市民のみなさまと一緒に学び、盛況のうちに終了となりました。



第78回 市民病院公開講座開催のお知らせ（予告）

日時：2024年1月20日（土） 14時～ 7階さつきホール
参加費：無料 先着50名様
テーマ：現在調整中です。



社会医療法人生長会 阪南市民病院 地域連携室

（直通）TEL 072-471-3020 FAX 072-471-3977

受付時間 午前8：45～午後6：00 ※土曜日は午後0：30までとなります

～ 阪南市民病院 基本方針 ～

全人的な医療を通して人々が自分らしく生きることにつながる病院
「やさしい」「ていねい」「あったかい」医療を提供する

